

かかみがはら

スマートミュージアム  
Kakamigahara

# 百科

Kakamigahara  
Encyclopedia

かかみがはら百科

2020 | No. 01

創刊号

ここまで分かった  
坊の塚古墳の姿

特集

CONTENTS	
特集 ここまで分かった坊の塚古墳の姿	02
調査速報 見逃しません 大切な歴史資料	06
事業報告 古墳時代の各務原	08
村国座と子供歌舞伎	10
空襲実写フィルム初公開	11
オリジナリックと岐阜固体	12
各務原を知る 郷土の偉人 吉見資胤	14
TOPICS 織田信長	16

# ここまで分かった 坊の塚古墳の姿

坊の塚古墳は、古くから市内最大の前方後円墳として知られていましたが、正確な規模や構造、築造年代は分かっていませんでした。平成26年度に古墳の土地が地元の財産管理組合から市へ寄付されたことを契機に、古墳の整備や活用に向けて詳細な情報を得るため、平成27年度から発掘調査を始め、本年度で終了しました。

## 円筒埴輪列の確認

墳頂へ通ぶように並べられた円筒埴輪列を確認しました。埴輪の数は、現時点での墳丘復元から推定すると、約380個の計算になります。

当時の人々は、墳頂に埴輪が隙間なく並べられた大きな古墳に、圧倒されたのではないでしようか。



**墳頂への道**

前方部から後円部へ登るための隆起斜道を確認しました。斜道の側面は墳丘と同様に葺石に覆われています。

隆起斜道は、後円部墳頂で行う儀礼のために造られた道です。それは現在の墳頂に登る道と同じ場所にあり、私たちはまさに古墳時代の人々と同じ道を歩いているのです。

どうぞお読みください。

墳丘斜面から石櫛の蓋石が見つかりました。これは、石櫛を盗掘した際に引きずり出されたものと思われます。この蓋石を何かに使う予定だったのかもしれません、重すぎたのか途中で諦めて、この場所に放置したのでしょう。

## 古墳の最重要施設・石櫛

後円部墳頂に造られた石櫛は、盗掘によって壊されています。調査前からすでに大きな穴が掘られており、かなり大規模な盗掘であったことが分かります。

権力を象徴する豪華な副葬品が石櫛内に納められていたと思われますが、もし残っていたら、どのような物が発掘されたのでしょうか。



## 重要な境目

前方部と後円部の境を「くびれ部」といい、その位置が中段で確認できました。くびれ部が明確になることは、墳丘の形状をより正確に復元するための重要な情報です。

くびれ部の葺石や基底石が写真のようにきれいに残っていることは珍しく、ずっと眺めていたい程の魅力を感じます。



## 墳丘の三段築成

墳丘は前方部・後円部とともに三段築成であることが分かりました。築成の数は、被葬者の階層に密接な関係があると考えられています。そのため、この古墳の被葬者は、非常に有力な首長であると言えます。

坊の塚古墳は、見晴らしの良い各務原台地に造られたことで非常によく目立ち、権力の誇示に相応しい土木構造物であったと思われます。



## 前方部推定ライン

## 本来の墳丘は?

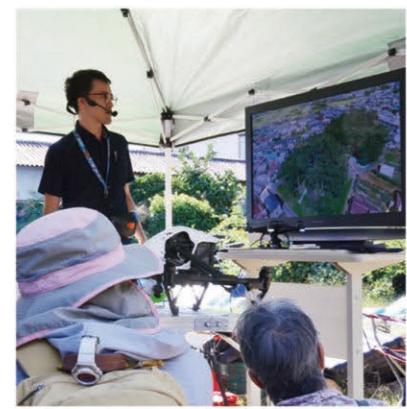
現在の前方部の形状は左右対称ではなく、片側が短くなっていますが、それは本来の姿ではなく、道路で墳丘が削られたことによるものです。調査によって、前方部推定ラインまで続いていることが分かりました。

坊の塚古墳を訪れた時に、このラインまで墳丘が続いていたと想像してみると、古墳の大きさをより実感できるでしょう。



スタンブラーの台紙

古墳マイスターによるポイント解説



上空から古墳を観察

最初に学芸員が調査の成果を説明し、その後はスタンブラー形式にして、各見学ポイントを自由に見て回れるようになります。ポイントには、解説ボランティア「古墳マイスター」の皆さんが常駐しており、時間を感じることなく見学できたと好評でした。

また、ドローンを使って上空から古墳の観察も行いました。普段見ることのできない古墳の姿に、見学者は感嘆の声をあげていました。  
(近藤 美穂)

今回の現地説明会では、調査成果の話を聞くだけではなく、スタンブルリーやドローンを使ったイベントを催したことで、坊の塚古墳の本来の姿をよりじっくりと見学していました。

林正憲氏と、古代邇波の里・文化遺産ネットワークの大塚友恵氏をお招きしました。林氏からは全国の古墳の活用事例を学び、「整備しすぎない古墳」というパワーワードを示していただきました。また、大塚氏は、周辺の住民の方々と試行錯誤しながら古墳との関係を築き上げた経緯を説明されました。加えて、担当学芸員による発掘調査の成果報告も行いました。

その後、前述の講演者3名に、市民代表として各務原市文化財を守る会の大堀等氏を交えて、座談会を開きました。

## プログラム

基調講演「令和に伝えたい全国の古墳の魅力」  
林正憲(国立文化財機構 奈良文化財研究所)  
開催地報告「坊の塚古墳発掘調査の経緯と成果」  
近藤 美穂(各務原市埋蔵文化財調査センター)  
事例報告「史跡 青塚古墳と見守る会」  
大塚 友恵(古代邇波の里・文化遺産ネットワーク)  
座談会「坊の塚古墳から未来の各務原市へ」  
大堀 等(各務原市文化財を守る会)・講演者3名



令和元年12月21日開催  
座談会「坊の塚古墳から未来の各務原市へ」のようす

## 最後の現地説明会

毎年、坊の塚古墳の調査が終盤を迎えると、現地説明会を開催してきました。説明会は、実際に現地へ赴いて、実物を見ながら話を聞くことができる唯一の機会です。

令和元年度は、10月13日に第5次調査の現地説明会を開催しました。最後の調査となるため、過去の調査区も掘り起こし、その成果を紹介しました。

## 坊の塚古墳シンポジウム 令和の時代に伝えたい 古墳からのメッセージ

5年にわたる発掘調査が終了しましたが、今後、坊の塚古墳の存在はどうあるべきなのでしょうか。その方向性を市民のみなさんに問い合わせる機会として「坊の塚古墳シンポジウム」を開催しました。市内外から約300人の方にお集まりいただきました。

講演会では、奈良文化財研究所のシンポジウム後のアンケートでは、「葺石や三段築成の復元」「可能な範囲での周壕の整備」「案内板の設置」「駐車場・トイレの完備」を望む声が多く寄せられました。

これらのご意見を参考に、今後も保存・整備のあり方を模索し、提案していきます。

儀礼を行った場所は、遺物がまとまって出土していることから、その付近であると推測されます。使用する食物が、実物ではなく腐らないよう土で作ることで、いつまでも供養し続けようとしていたのかもしれません。

後円部墳頂の埋葬施設は、盗掘によって大きく掘り返されています。盗掘坑内を調査したところ、墳頂で行われた墓上儀礼に関する重要な遺物が出土しました。

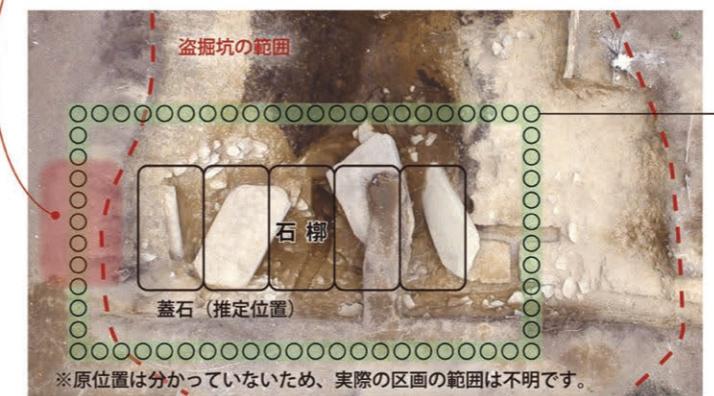
### 供献土器・土製品



供献土器・土製品



滑石製模造品（盗掘坑内から出土）



壺形埴輪の方形区画  
石柳を囲うように方形に並べられました。囲うことによって外部と区画し、悪いものが入ってこないようにする結界の役割をしていたと思われます。



壺形埴輪  
底部に孔があけられた壺形埴輪が出土しました。破片のため完全な形認されていないため、おそらくは被葬者の埋葬後、墓上に並べられたものと思われます。

### 一度きりの儀礼

出土した土器・土製品・滑石製品の年代は、4世紀末から5世紀初めと推測されます。この時期以外のものは出土していないため、墓上儀礼は埋葬後に一度行われ、二度目は行われなかつたものと思われます。

これらは、滑石を使って、鉄製の農工具や硬石で造られた装飾品を模造したもので、小型に造られており、実用に向かないことから、儀礼に使用されたと考えられています。

### 滑石製模造品

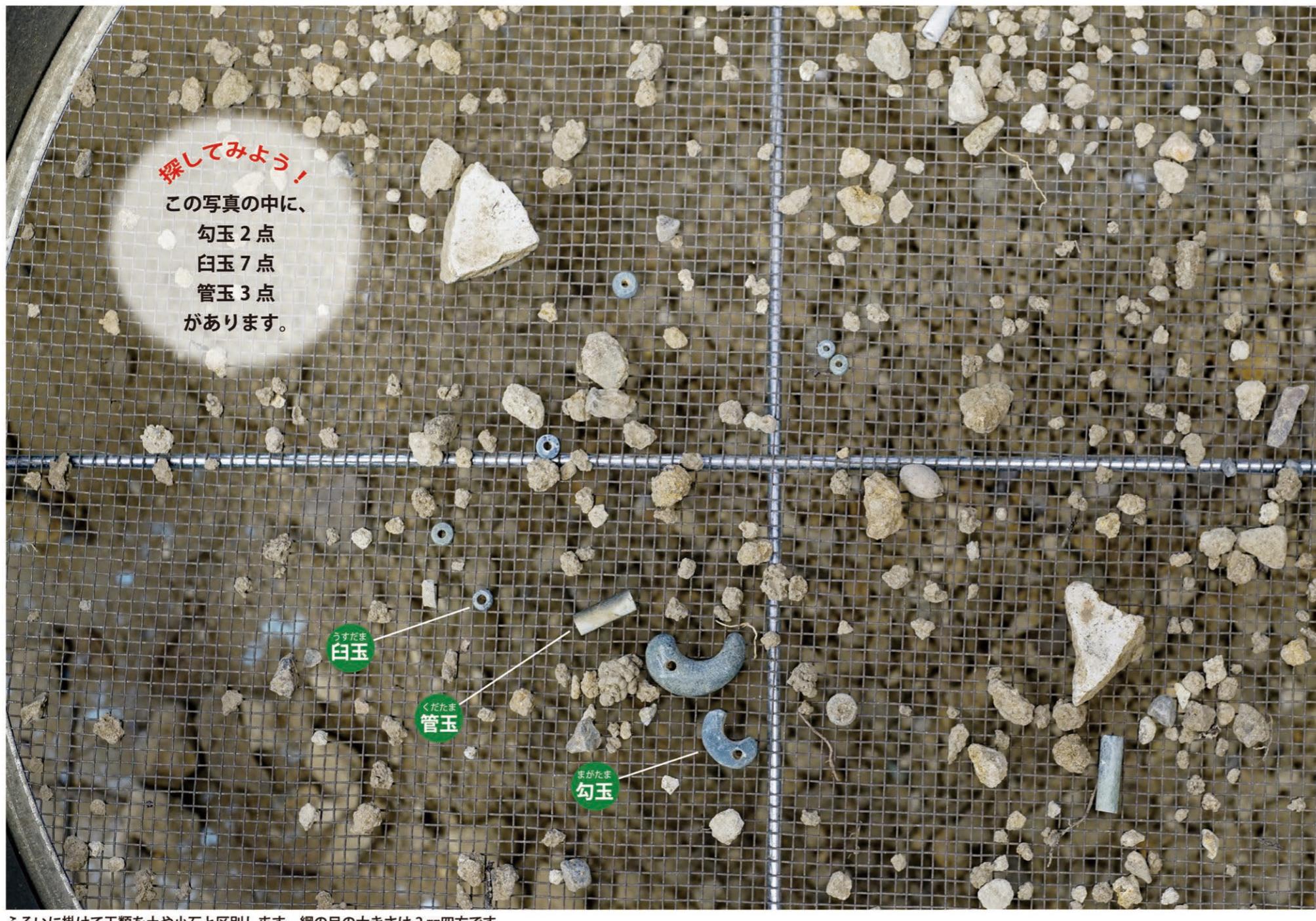
出土した滑石製模造品は、斧・刀・子・勾玉・管玉・白玉・囊玉です。

儀礼が一度きりなのは、古墳を神聖な区域とし、何度も立ち入らないようにしたからかもしれません。

## 見逃しません

### 大切な歴史資料

第3次坊の塚古墳発掘調査では、埋葬施設の周辺を調べました。調査の途中、土に小さな玉が混じっていることが分かりました。これらは、ほとんどがなく不規則な位置に埋まり、なかには直径3mm以下という極端に小さなものもあります。現地の作業では、どうしても見逃してしまっておりがちです。土ごと袋に詰めて持ち帰り、十分な時間をかけて選別しました。



ふるいに掛けて玉類を土や小石と区別します。網の目の大きさは2mm四方です。

#### ゴーグルとマスクをして

性があるため、今回は採用しませんでした。坊の塚古墳の次に調査した山後2号墳では土砂の量が少なく、土の粒子が微細だったので水洗浄を行い、(5)として磁石で鉄製品を選び分けました。

今回の作業の成果は、勾玉65、管玉72、棗玉1、白玉896など。この後、遺物の整理は洗浄・計測・図化と進んで、最終的には報告書の資料としてまとめられます。

(林武彦)

#### 作業の手順

平成29年度に実施された「第3次坊の塚古墳発掘調査」では、過去に盗掘された痕跡のある後円部の埋葬施設が調査対象となりました。実際に凹んでいた墳頂部を掘ると、石槨の蓋石4枚とともに盗掘を免れた副葬品や祭祀製品が検出されました。現場で見逃された遺物を漏れなく見つけ出そうとするのが、ふるいを使った埋土精査の作業です。作業の対象は、調査のために掘りだされた土砂が詰まった約230個の土嚢袋。試しに現場でふるつてみると、勾玉や管玉とともに多くの白玉が含まれていることがわかりました。直径5mmに満たない細かい遺物が対象になるため、ふるいの作業は天候に左右されない建物の中でじっくり腰を据えて行なうことになったのです。

作業の手順は、(1)土砂を乾燥させ(埃が立つのである程度湿った状態がベスト)、(2)木の根や大きな石を摘み取り、(3)ふるいにかけて細かい砂粒を取り除いたら、(4)目視で遺物を探します。(3)の段階で土砂を水で洗い流す方法もありますが、大量の泥の処理と滑石製の遺物が溶けてしまう可能性があります。

装備としては、砂埃が舞い上がるため防塵用のゴーグルとマスクが必要で、作業後の目の洗浄も欠かせません。比較的単純な作業は目の疲労や身体の硬直を引き起します。また、身体的な疲労以外にも、採取された土砂の位置によって遺物の包含には偏りがあり、袋によって遺物の数は0個の場合もあれば30個を超えるなどまちまちなので、遺物が検出されない期間が続くと精神的なダメージもなくありません。作業を要する時間は遺物の数に比例して長くなりました。



平成27年度より5年計画で進めていた坊の塚古墳の発掘調査の終了に併せ、企画展「古墳時代の各務原」を開催しました。最新の調査成果とともに、これまでに調査された市内間続いた古墳時代のはじまりから終焉までを追いました。

今回の企画展では、2391点もの遺物を展示了。これらは大事な歴史の証人です。市指定文化財である三角縁神獣鏡や鶴頭埴輪はもちろんのこと、金属製品や装飾類は非常に多くの数も多いので、特に慎重に扱いました。できる限り多くの遺物を、迫力のある展示で見ていただきためにアイデアを出し合い、設置方法にもこだわりました。

ここでは、そんな展示のウラ側を、一部ご紹介します。

### 見せます！企画展のウラ側



ないものはハンドメイド！

展示には既成の展示台を使いますが、案外サイズが合いません。遺物ファーストを考え、展示物に合わせた台を自分たちで工夫し、イチから作るものもありました。台が汚れていれば、布の張り替えもしました。

各展示物に合わせた台が完成！

展示台の製作・布の張り替え



### ご来場ありがとうございました

期間中（29日間）の入場者数はのべ1552人。中には、何度も来場された方がある一方、会場のある図書館に来た際に本企画展を知つて立ち寄つたという方も非常に多く、古墳への関心の高さを感じます。アンケートの集計（回答数366人）によると、各務原市内からは225人、そのほかの岐阜県内からは68人、県外からは67人。遠くは東京都や埼玉県からもお越しいただきました。来場者からは、「市内に多くの古墳があることに驚いた」「方墳など様々な形の古墳があり、時代の移り変わりを実感した」「まちの魅力として古墳をフィーチャーできたら」などの感想が聞かれました。

また、展示解説ボランティア「古墳マイスター」の皆さんにご協力いただき、気軽に解説を聞ける親しみやすい展示を目指しました。市内に残る古墳が、親しまれ大切にされるきっかけになればと思います。

今後も、多くの方が関心を持ち、楽しんでいただける展示空間を目指したいと思います。（村瀬美香子）



いっぱい並べてみました

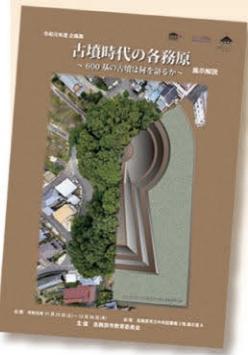
古墳から出土した遺物は様々な種類があります。なかでも金属製品や装飾類は出土点数が非常に多いものです。せっかくだからいっぱい見てもらおう！と、スペースと時間の許す限りたくさん展示しました。整然と並ぶ様子はまるで市民会館の観客のように見えませんか？



転倒に備えて…

遺物が倒れて紛失したり破損したら大変！多くの遺物は固定が必要でした。それには適度な長さにカットした極小のピン（最細で0.5mm）やテグス（釣り糸）を使いました。遺物に極力ダメージを与えないよう、1本1本にシリコン製のチューブも取り付けました。

企画展にあたり、展示解説『古墳時代の各務原～600基の古墳は何を語るか～』を作成しました。A4・12ページ。埋蔵文化財調査センターで無料配布しています



## 古墳時代の各務原

600基の古墳は何を語るか

## 受け継がれる伝統芸能

# 村国座と子供歌舞伎

明治10年の完成と伝わる村国座。140年を超える歴史の里には、建物とともに歌舞伎の伝統を支えてきた地域の情熱や誇りがあります。

10月に開催した企画展「受け継がれる地歌舞伎—村国座」では、地域に伝わる歌舞伎の衣装や台本とともに、各務原に残る唯一の地歌舞伎の姿を紹介しました。



受け継がれる  
地歌舞伎—村国座

江戸時代の初め、慶長年間に出来た阿国が創始したという歌舞伎は、都市部だけでなく地方の村々でも支持されました。江戸時代後半には、地方でも興行（買芝居）ではなく、村民自らが歌舞伎を演じる「芝居」が行われるようになります。

現在、市内に残る5カ所の歌舞伎舞台のうち、唯一の歌舞伎専用の劇場が、各務おがせ町の「村国座」です。村国座では、毎年10月の神社の祭礼の中で、地元小学生による子供歌舞伎が行われており、「奉納芝居」という江戸時代から続く古い芸能の形態を現代に伝えています。

### 地歌舞伎の伝統をつなぐ

令和元年10月、子供歌舞伎の開催に合わせ、中央図書館3階展示室で、企画展「受け継がれる地歌舞伎—村国座」を開催しました。

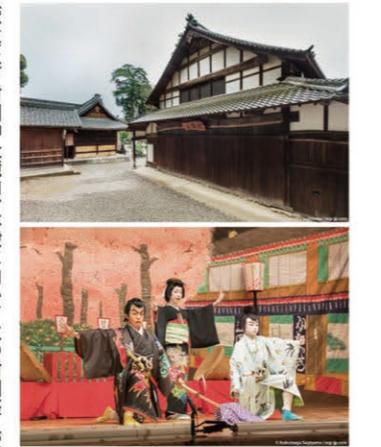
村国座が立つ村国神社には、かつての青年歌舞伎で使用した歌舞伎の衣装や台本が多数保存されており、今回、各務地区の協力により、その一部を整理・借用し展示しました。

こうした素人芝居は、現在「地歌」（ぶき）と呼ばれ、岐阜県は全国最多の保存団体が活動する「地歌舞伎一大国」として知られています。

年から子供に歌舞伎のバトンが渡され、今日の子供歌舞伎につながっています。近年は少子化などの課題を抱えながらも、地域が一体となつて毎年秋の公演を開催しています。

村国座と子供歌舞伎。江戸時代から続く、市が誇るべき地歌舞伎の象徴です。

（阪野陽介）



（写真上）村国神社境内、本殿に向いて立つ村国座（写真下）夏から稽古を積んだ子どもたちが熱演を見せる



（写真左）企画展では計5点の衣装を展示（写真右）江戸～戦後の歌舞伎台本や出納帳などの資料も公開

# 空襲実写フィルム初公開

6月22日 平和の日

平和シンポジウム  
各務原空襲を忘れない



### 55秒の実写映像を見て

映像は、昭和20年（一九四五）6月26日のB-29による川崎航空機工業岐阜工場への空襲（47秒）と、同年7月15日のP-51による各務原東飛行場への機銃掃射（8秒）で、時間は僅かですが、非常に濃い内容でした。特に6月26日のフィルムは、新境川から各務山までの区間をB-29が飛行しない空爆の様子が映っていました。川崎航空機工業の敷地内で閃光と共に爆弾が破裂した瞬間や、東島池に落下した爆弾が水しぶきを上げている場面なども映っていました。

（西村勝広）

### 事実をしつかり受け止めて

今回、シンポジウムの壇上に立て述べさせていただいたのは、戦争を避け平和を希求していくためには、戦争で起きた事実を正確に学ぶことが肝心だということです。また、戦争体験者のお話は非常に重要ですが、その内容には恐怖や錯覚、誤認、思い込み、混乱などが含まれているため、よく検証することが必要だということもお話しさせていただきました。こうした検証こそが、歴史学が担うべき太平洋戦争史の研究です。

発見された各務原空襲の映像フィルムは、眞実を素のまま映しており、私たちの生活圏に大小の爆弾が落ちている瞬間をとらえていました。疑うこと、想像することも必要なない現実を、74年以上経過した現代に、私たちが確認することができます。私たちが確認することができた意義は大きいと思います。各務原空襲の映像をしっかりと目に焼き付け、実際に起きた出来事に向き合って、このような事が二度と起きることのないよう、戦争と平和について深く考

## 55年という年月

今年度のミニ企画展「オリンピックと岐阜国体」は、令和2年（2020）、2度目の東京オリンピック開催に合わせて企画しました。この準備を進める中で思い出されたのが、平成8年（一九九六）に編集された『各務原市民の戦時体験』（以下『戦時体験』）の編集後記中にある「全体として感じたことは、10年遅かったということです。」という言葉です。

『戦時体験』の刊行からすでに20年以上が経ち、岐阜国体から数えても55年の月日が流れました。戦後に生まれ、日本の戦後復興・経済成長を支えた人たちも70歳以上のご高齢となりました。『戦時体験』の例にならえば、これから昭和20年（30年代）の各務原の人々の暮らしを聞き取り、資料を収集し、まとめようとする、すでに遅きに失しているかもしれません。

しかし、今はまだ当時を知る方がいらっしゃいます。今回もそんな皆さんに助けていただき、展示にこぎつけることができました。

## オリンピックよりも国体が…

ミニ企画展は、当館の所蔵資料展という位置づけで企画しています。

先述の通り、オリンピック開催の年なので、オリンピック関連の所蔵品を展示する！と意気込むまでは良かったのですが、いざ資料台帳を調べていくとほとんど「オリンピック」「五輪」と冠するものが見当たらぬ。やると言ったものの、展示するモノが無いことには始まりません。

ある日、同僚と何の気なしに前回の東京オリンピックの話になり、当時のエピソードがないか尋ねてみたところ、「オリンピックもすぐかつたけど、どちらか」と翌年の岐阜国体の方が印象深く残っている」という答えが返ってきました。

## 1964（昭和39年）東京オリンピック

第18回オリンピック競技大会  
20競技163種目の試合が東京とその近郊の会場で行われ、93の国と地域から5,152人が参加

## 1965（昭和40年）岐阜国体

第20回国民体育大会  
「明るく つよく 美しく」をスローガンに掲げ、夏季・秋季あわせて31競技、20,593人が参加

日本中が注目した一九六四年の東京オリンピックの熱が冷めやらぬ翌年の国体は、岐阜県が会場になっていたのです。全県民が一丸となつて盛り上げた岐阜国体とオリンピック、二大スポーツイベントという括りならば、もっと多くの資料を紹介できるかもしれない。そうした経緯で、今回の企画展のテーマを「オリンピックと岐阜国体」とし、約20点の所蔵資料と3点の借用資料を来場者の方々に紹介することができます。

鶴沼第二小学校のテレビでのオリンピック観戦記録

鶴沼第二小学校のテレビでのオリンピック観戦記録

1964（昭和39年）東京オリンピック

1965（昭和40年）岐阜国体

各家庭に普及しつつあった当時の電化製品も展示

## ふたつのリレー

当時を知る世代の方たちに会っては「何か当時の情報とかモノとか、あつたら教えてください」とお願いしていたある日、市内在住の○さんより「国体の炬火リレーに出たんだよ、まだ家にハチマキがあつたはず」とお申し出をいただきました。「貸してください」とお願いしたところ、当時の集合写真とともにお借りすることができました。

またある日、国体に比べてオリンピックに関する資料が少ないと感じてどうしようかと悩んでいた時に「ぼく、前の東京オリンピックの聖火リレー出たんだよ」と突然のカミングアウト（？）をされたIさんからは、参加した際のランニングシャツにつけていたオリンピックのワッペンをお借りしました。

今回、奇しくも借用した3点の資料は「リレー」に関するものでした。

## 何で残ってるの？

今回のミニ企画展をまとめる上で中心となつたのは、日誌類でした。学校日誌は本来であれば数年で廃棄されるのですが、数校分の学校日誌が当館の収蔵庫に收められています。そのため、見出しのように「何で残ってるの？」という声も聞こえました。しかし、これらの日誌が廃棄されず残つていたおかげで、当時の学校では授業の一環としてオリンピックを観戦していくこと、国体に学校や児童生徒たちがどのように関わったのか、一端を知ることができました。

公文書保存やアーカイブ機能について取りざたされている今ですが、廃棄されてしまつては些細な日常の記憶が残りません。廃棄と继承について、今回のミニ企画展を通して考えさせられました。

今回のミニ企画展は、展示資料点数は少なかつたかもしません。しかし、ご覧になつた方にとっての、リレーの中継点のような位置づけになればといつ思いがあります。「そういう家にあの頃のモノがあったな」と思い出された時にはぜひ、そのモノを囲んでご家族やご友人、世代を超えて思い出の共有をしてほしいと思います。

そしてその思い出を資料館へ、また次の世代へとお聞かせいただけると嬉しいです。

（引地歩）

## 記憶のリレー



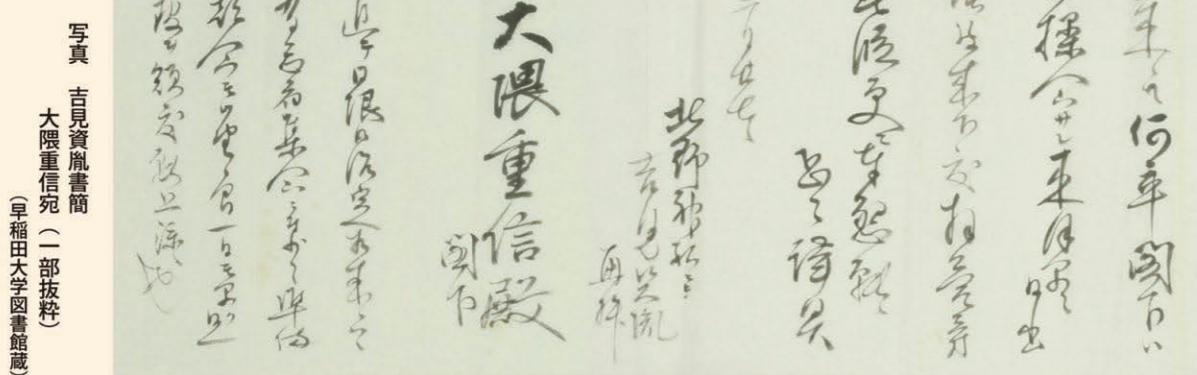
オリンピックの熱狂ぶりを伝える新聞記事や記念の絵葉書などに見入る来場者

# 令和元年度ミニ企画展 オリンピックと岐阜国体

各務原市婦人会による岐阜国体マスゲーム（那加中グラウンド）



大隈重信

(国立国会図書館  
「近代日本人の肖像」より転載)

写真

吉見資胤書簡  
（早稲田大学図書館蔵）

(長谷健生)

先日はわざわざお越しいた  
だき、菅原道真公の歴史につ  
いてのご講演ありがとうございました。  
いよいよ北野会も  
発展していくことでしょう…

資胤は、大隈に次のような内容の  
お礼の手紙を送っています。

**3. 北野神社千年祭**  
明治35年（一九〇二）は、北野天満宮の祭神である菅原道真の千回忌となる記念の年でした。資胤は、「天満宮千年祭」を盛大に執り行うべく4年前の明治31年（一八九八）に華族や名望家たちに協力を求め、「北野会」を結成しました。北野会は千歳祭へ向けて機運を高めるべく、人物ゲストを講演会に呼ぶことを計画します。そこで白羽の矢が立ったのが、総理大臣も務めた政界の大隈重信でした。肥前出身の大隈重信は九州の歴史に詳しく、また菅原道真を崇敬していました。明治33年3月27日、資胤は大隈に手紙を送りました（写真）。



## 郷土の偉人 吉見 資胤

北野天満宮の宮司になった男

京都にある北野天満宮は、「学問の神様」と言われる菅原道真（845～903）を祭神とする、全国の天満宮、天神社の総本社です。明治時代、この有名な北野天満宮の宮司（神社の最高の神職）に、各務原の前渡村出身の人々がなったことは、ほとんど知られていません。

今回は、各務原に生まれ育ち、北野天満宮宮司として活躍した、吉見資胤（1848～1910）についてご紹介します。

吉見資胤は、各務原の旗本前渡坪内氏10代当主、坪内定昌の一男です。幼名を欽次郎、後に監物といいます。旗本前渡坪内氏は、前渡村600石の領主です。しかし、幕府からは新加入の坪内氏本家6800石の一部として扱われ、将軍にお目通りすることができない家格とされています。11代当主の坪内嘉兵衛昌壽（一八三五～一九一）は、家格の向上を目指し、たびたび各務野で大砲の演習を行うことで自分たちの技術を幕府にアピールしようとしました。欽次郎は、そんな昌壽の弟として嘉永元年（一八四八）に前渡の陣屋で生まれました。

慶応2年（一八六六）、江戸幕府は軍制改革を行い、旗本を江戸に集めて軍事訓練を実施しました。その際、18歳になった欽次郎は、兄の昌壽とともに家来たちを引き連れて江戸に出府し、若年寄らに得意の砲術を披露して注目されました。

また欽次郎は、横浜でフランス語や砲術について学びたいと志願しており、優れた才知と向上心を持った人物であることがわかります。



北野天満宮（京都）

来月初旬にご講演いただきたく思います。この機会を失っては、北野会の将来に大きな影響を及ぼしますので、まげて御出張いただきたい次第です。

来られる日程が決まりましたら、こちらも準備がありますので一日も早く御一報ください。

資胤は、総理大臣も務めた大隈にまげてお願いできるほどの人物でした。資胤の尽力もあって、同年4月13日に講演会は実現しました。演説が上手い大隈の講演は好評だったようです。

資胤は、大隈に次のような内容のお礼の手紙を送っています。

北野会は『菅公公談』というタイトルで大隈の講演を出版しました。その後も資胤は北野会の中心人物として活躍し、大隈の講演から2年後の「天満宮千年祭」も盛況のうちに終了しました。また、北野天満宮の歴史を記した『北野誌』を編纂するなど、明治43年（一九一〇）に死去するまで約20年間を宮司として活躍しました。

前渡西町に、「北野神社」という神社があります。安永2年（一七七三）に前渡坪内氏が建立した神社ですが、資胤は郷里に帰った際に必ずこの北野神社に参拝したと伝わっています。幕末という激動の時代を生きた各務原の旗本は、郷土での経験を糧に大きく羽ばたきました。



現代の栄養学的に見た  
中山道鵜沼宿

# 鵜沼屋飯



文久元年（一八六一）、孝明天皇の妹である和宮は、14代將軍徳川家茂に嫁ぎました。京都から江戸へ向かう途中、中山道鵜沼宿で和宮に振舞された昼食が「鵜沼屋飯」です。昨年度、鵜沼屋飯が再現されました。今回は、東海学院大学健康福祉学部管理栄養学科が、「和宮御方様御下向御道中御次献立帳」と再現レシピを参考に、鵜沼屋飯を食品成分表で栄養価計算しました。



## ヘルシーなランチだった

表1のとおり、エネルギーとなる3大栄養素（炭水化物・脂質・たんぱく質）の摂取比率は良好です。食物繊維も豊富で、鉄・亜鉛は赤貝に多く含まれます。ただし、ナトリウム（塩分）は少し過剰で、カルシウムとビタミンCは不足気味です。現代は減塩、緑黄色野菜の摂取増が推奨されるので、そぐわない点はあるものの、全体としてはバランスのとれた昼食メニューといえます。

表1 栄養素の比較（現代の摂取目安と鵜沼屋飯）

栄養素等	摂取目安	鵜沼屋飯	比較
エネルギー必要量	430kcal	556kcal	+
たんぱく質（エネルギー比率）	13~20%	24.7%	+
脂質（エネルギー比率）	20~30%	12.8%	-
炭水化物（エネルギー比率）	50~65%	62.5%	+
<b>脂肪酸・コレステロール</b>			
飽和脂肪酸S（比率）	3	3(1.67g)	
一価不飽和脂肪酸M（比率）	4	3(1.88g)	-
多価不飽和脂肪酸P（比率）	3	4(2.18g)	+
コレステロール		173mg	
<b>食物繊維</b>			
不溶性（比率）	2	2.5(5.0g)	+
水溶性（比率）	1	1.0(2.0g)	
ナトリウム（食塩相当量）	2.3g	8.7g	+
カリウム	866.7mg	1427mg	+
カルシウム	210mg	133mg	-
カルシウム（比率）	1	1(138mg)	
マグネシウム（比率）	1	1(147mg)	
鉄	3.5mg	4.8mg	+
亜鉛	2.7mg	3.8mg	+
ビタミンA	187~233μg	148μgRE	-
ビタミンB1	0.4mg	0.31mg	+
ビタミンB2	0.4mg	0.41mg	
ビタミンC	33.3mg	19mg	-
ビタミンD	2.0μg	7.5μg	+

## ここがポイント

- 脂質：油を使う調理がないのは和食文化の特徴。
- たんぱく質：動物性が多い。魚介類によるもてなし料理。
- 多価不飽和脂肪酸P：魚介類に多く含まれる。
- コレステロール：卵黄と魚介類に含まれる。
- 食物繊維：野菜の種類が重ならないよう摂取量を確保。
- ナトリウム：白飯に味噌汁と漬物が加わる和食文化の特徴。
- カリウム：野菜に多い。
- ビタミンA：緑黄色野菜が少ない。
- ビタミンC：加熱調理の場合は損失。
- 緑黄色野菜が少ない。
- ビタミンD：平皿・焼き物の魚類に多い。



## 考えられた食養生

和宮が鵜沼宿を訪れた10月27日（旧暦）は、空気が乾燥しているため、空咳や痰、喘息、気管支炎などの呼吸器系の疾患や髪のパサツキ、肌の乾燥などの症状が起こりやすい時期です。鵜沼屋飯に登場する「葉つき大根」、「銀杏」は、肺を潤し体の熱

岐阜県には海がないため、主役の魚介類を調達し提供することによって、たいへん価値のある御馳走へと献立を引き立てています。また、脇役料理の素材には、地元の特産品や旬の野菜を集めています。

## やっぱり御馳走！

岐阜県には海がないため、主役の魚介類を調達し提供することによって、たいへん価値のある御馳走へと献立を引き立てています。また、脇役料理の素材には、地元の特産品や旬の野菜を集めています。

岐阜県には海がないため、主役の魚介類を調達し提供することによって、たいへん価値のある御馳走へと献立を引き立てています。また、脇役料理の素材には、地元の特産品や旬の野菜を集めています。

## 皇女のおもてなし

海の幸と地産の食材を美味しい料理に活かしながら、食養生的にも配慮した工夫が献立に認められました。長旅の疲れを癒すために、様々な効能のある食材を組み合わせた献立から、食材調達と調理に関わった人たちの、皇女に対する重大な使命感が伝わってきます。

（西村勝広）

## 鵜沼屋飯をつくろう！ 再現レシピ

味噌汁	平皿（さより・葉付き大根・椎茸）	焼き物（いな付け焼き）
=材料（4人分）=	=材料（4人分）=	=材料（4人分）=
・ごぼう 150g	・サヨリ（刺身用） 2尾	・ボラの切り身（1切 60g） 4切
・ねぎ 適量	・葉付き大根 200g	・塩 少々
・出し汁 4カップ	・生椎茸 4枚	・醤油 50cc
・赤味噌 50g	・酢 40cc	・酒 25cc
・煮干し 10尾	・砂糖 大さじ2	・みりん 25cc
	・塩 小さじ1弱	
	・片栗粉 小さじ1/3	
	・卵黄 1個分	
	・練りわさび	
	白飯	香の物
		なすの奈良漬けと沢庵



## 和宮御膳が食べられる！

鵜沼宿に店舗を構える「釜めし・串・豆腐 花の木」では、文献と再現レシピを参考に、岩井貞紀店長が調理法をアレンジ。盛り付けの仕方や、器にまでこだわり、二度の試食会を経て完成させました。

中山道鵜沼宿ボランティアガイドの会も協力。宿場の散策と併せてご賞味ください。

※要予約 4人以上、1週間前までに「花の木」へ各務原市鵜沼西町1-118 ☎ 058-385-2958

本稿には、平光美津子・デュア・貴子・村勝広・野澤義則「皇女和宮の鵜沼屋飯再現について栄養学的・江戸時代の食養生的見方」（東海学院大学研究年報）第5号（2010年）の内容を引用しています。鵜沼屋飯の再現レシピは、料理教室講師の大森久仁子氏が制作されました。和宮御膳の取材には、花の木の店長、岩井貞紀氏にご協力いただきました。



かずのみやちかこないしのう  
和宮親子内親王  
当時は16才で身長143cm、  
体重34kgと小柄な体格

写真提供：塩尻市



もっと

# 知りたい!

## いま・むかし

Q

これは何に使う道具だろう。  
みんな、わかるかな？

火熨斗



いまとぜんぜん  
ちがうらら



これは、「火熨斗」という昔の道具です。

フライパンだ！と思ったあなた、ざんねんながらハズレです。

じつはこれ、今でいう「アイロン」なんです。まだ電気がない時代に、服のシワを伸ばすために使われました。

何かをあげたり、返したりする時に言う「のしをつけて」という言葉は、この道具が元になっています。

古くは、1500年いじょう前の古墳からも見つかった火熨斗。

昔の道具ですが、今と同じコードレス（？）ですね。



火がついた炭を入れ、平らな底の部分で服を伸ばしました



火熨斗の後、昭和のはじめまで使われた炭火アイロン。



火熨斗と同じく、中に炭を入れて使いました



川島松倉町にある「木曽川文化史料館」には、「火熨斗」のような昔の道具を集めた「民俗資料室」があります。ぜひ見に来てね。

かかみがはら百科  
Encyclopedia